

4. 魅力あふれる元気なまちづくり			令和4年度以前の取り組み（概要）	令和5年度の取り組みの方向性	令和5年度から令和8年度までの対応（予定）状況					担当部局	
No	宣言	該当事業			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
22	町のシンボル「未来の創造拠点」整備を推進します	藤久保地域拠点施設事業	令和元年度から3年度にかけて「藤久保地域拠点施設基本計画」を策定し、令和3年度から基本計画を踏まえ、官民連携方式により整備するため、新施設の性能を定めた要求水準書の作成、事業者選定と契約締結に至るまでの手続きを円滑に進めるため、官民連携アドバイザー業務の契約を行い、令和4年度に総合評価一般入札方式による、事業者選定委員会の審査を経て落札事業者を決定した。	令和5年4月28日に落札事業者と契約締結に向けた基本協定の締結、5月12日に仮契約締結、6月議会の議決を経て本契約となったのは、令和5年度で基本設計、令和6年度に実施設計、工事着工、令和8年9月に1期工事分の供用開始、令和9年9月に2期工事分の供用開始。	従来からの継続事業						施設マネジメント課
					研究段階						
					検討段階						
					実施						
					終了						
					具体的取り組み	基本設計	実施設計・工事	工事	工事・一部供用開始		
					事業費（千円）	126500千円	1518492千円	3859893千円	1549140千円		
23	スマートICフル化と周辺整備可能性調査を行います	スマートIC利便性向上促進事業	スマートIC周辺のアクセス道路整備については平成27年度に、設計・測量・調査等を実施し、平成28年度から令和4年度にかけ三芳中学校前交差点を含む4交差点の交差点改良及び関越道を跨ぐ歩道橋を含めた町道幹線14号線の歩道整備を行った。また、令和2年度より、スマートIC下り線側の町道上富69号線付替えに伴う築造工事に着手し、令和4年度に暫定形として供用開始した。スマートIC本体工事についてはNEXCO東日本との共同事業であり、早期着手に向け関係機関と密に連携を図りながら調整を行った。上り線側は令和3年5月、下り線側は令和4年7月より本格着工し、鋭意工事を進めている。	スマートIC本体工事については、引き続き関係機関と密に連携を図り、早期竣工を目指す。また、スマートICフル化供用までに実施すべき対策（案内標識設置や安全対策の実施）については計画的に実施していく。フル化開通後のスマートICを活用しての「（仮称）バザール賑わい公園構想」については、これまでの可能性調査結果を基に政策研究所による専門的な知見も活用し当該構想の充実を図り、実現可能な複合交流拠点づくりに向けて更なる検討を進める。	従来からの継続事業						道路交通課
					研究段階						
					検討段階						
					実施						
					終了						
					具体的取り組み	工事					
					事業費（千円）	186,462					
24	産業用地開発に向けて地域経済の活性化を進めます	竹間沢通西地区土地区画整理準備支援事業	・事業実施に向けた意識情勢を図るための勉強会開催 ・合意形成の醸成に向けての自宅訪問 ・土地区画整理組合設立準備会の発足 役員（委員）7名	・組合運営支援 技術支援申請（事務局） ・地権者合意の支援 ・業務代行予定者決定支援	従来からの継続事業						道路交通課/都市計画課
					研究段階						
					検討段階						
					実施						
					終了						
					具体的取り組み	準備会運営支援					
					事業費（千円）	3176千円					
25	みよしフォレストシティ構想を推進します	みよしフォレストシティ構想に係るプロジェクトの進捗管理	令和4年度三芳町政策研究所において、みよしフォレストシティ構想についてアドバイザー（識見を持つ者）や市民研究員とともに意見交換を重ねた。その後、パブリックコメントを経て、構想の策定を行った。	令和4年度に策定したみよしフォレストシティ構想の推進を図るため、各プロジェクトごとの進捗管理を行う。また、年1回の推進会議を実施し、各委員及びアドバイザーと今後の推進について確認をする。	従来からの継続事業						政策推進室
					研究段階						
					検討段階						
					実施						
					終了						
					具体的取り組み	進捗管理	進捗管理	進捗管理	進捗管理		
					事業費（千円）	107千円	57千円	57千円	57千円		

4. 魅力あふれる元気なまちづくり			令和4年度以前の取り組み（概要）	令和5年度の取り組みの方向性	令和5年度から令和8年度までの対応（予定）状況					担当部局
No	宣言	該当事業			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
26	みよし農業を発展復興させます	農業支援事業	みよし野菜のブランド化の推進を図るため、みよし野菜ロゴと連動した販売促進キャンペーンの実施、女子栄養大学との癒しのレシピ事業を実施した。 また、平成29年3月に日本農業遺産に認定された地域の伝統農法である「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を多くの都市住民や幅広い世代に知っていただくため、住民対象の農業塾や小学生対象の学校農業塾、体験落ち葉掃きを実施した。	今年度も引き続き、みよし野菜のブランド化の推進を図るため、みよし野菜ロゴと連動した販売促進キャンペーンの実施、女子栄養大学との癒しのレシピ事業を実施予定。 また、平成29年3月に日本農業遺産に認定され、令和5年7月に世界農業遺産に認定された地域の伝統農法である「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を多くの都市住民や幅広い世代に知っていただくため、住民対象の農業塾や小学生対象の学校農業塾、体験落ち葉掃きを実施していく。さらに、地元の農産物等を活用した六次産業支援を行う。	従来からの継続事業					
					研究段階					
					検討段階					
					実施					
					終了					
					具体的取り組み	販売促進キャンペーン・癒しのレシピ事業・農業塾・体験落ち葉掃き、六次産業支援	販売促進キャンペーン・癒しのレシピ事業・農業塾・体験落ち葉掃き、六次産業支援	販売促進キャンペーン・癒しのレシピ事業・農業塾・体験落ち葉掃き、六次産業支援	販売促進キャンペーン・癒しのレシピ事業・農業塾・体験落ち葉掃き、六次産業支援	
					事業費（千円）	31685千円				
27	みよしのガーデンツーリズムを推進します	観光推進事業	令和5年3月に国土交通省で推進している庭園間交流連携促進計画登録制度（ガーデンツーリズム）の探訪部門で、みよし野ガーデン里山探訪が登録された。 令和5年度以降、ガーデンツーリズムの推進を図る。	ガーデンツーリズムの探訪部門で、みよし野ガーデン里山探訪が登録されたことを受けて、近場で手軽なマイクロツーリズムの推進を図る。具体的には、オープンフォレスト・オープンファーム・オープンガーデンを体感できるバスツアー等を実施し、世界農業遺産に認定された落ち葉堆肥農法で育て守り続けてきた平地林や畑等の特徴的な風景、江戸時代から続く寺社・農法から生まれた大地で現在の魅力を合わせたガーデンなど、季節ごとに三芳の里山風景を巡るツアー等、農と自然を体感できるガーデンツーリズムによって観光促進を図る。	従来からの継続事業					
					研究段階					
					検討段階					
					実施					
					終了					
					具体的取り組み	みよし野ガーデン里山探訪ツアー、パンフレット作製	みよし野ガーデン里山探訪ツアー等	みよし野ガーデン里山探訪ツアー等	みよし野ガーデン里山探訪ツアー等	
					事業費（千円）	2949千円				
28	芸術文化のまちづくりを推進します	芸術・文化推進事業	芸術文化のまちづくり条例に基づき、芸術文化推進会議を立ち上げ、三芳町芸術文化推進基本計画（R4～R13）を策定した。	芸術文化推進基本計画に基づく、推進プログラムを展開する。	従来からの継続事業					
					研究段階					
					検討段階					
					実施					
					終了					
					具体的取り組み	みよし芸術祭の開催	推進プログラム（新規事業）の開催	推進プログラム（新規事業）の開催	推進プログラム（新規事業）の開催	
					事業費（千円）	4930千円	6000千円	60000千円	60000千円	